

みんなでつくろう、みんなの学校

子どもたちの「健やかな成長」のために

「みんなでつくろう、みんなの学校」が6月3日に町野外活動等研修センターで開催されました。これは、さまざまな活動を通して子どもたちが自分に自信を持ち、挑戦する強い心を養うことを目的として、東熊本青年会議所が主催したものです。

約20組の親子が集まり、参加した保護者は「親と離れていても、友だちと仲良くできている姿を見て、子どもの成長を感じました」と笑顔で話していました。



1体を動かすコツを学びました 2みんなで協力して絵を描きます 3町の特産品で彩られたベンチは、道の駅大津に設置されます

自転車運転の技術を競う

平成30年度交通安全子ども自転車大津地区大会

「平成30年度交通安全子ども自転車大津地区大会」が、6月9日に本田技研工業(株)熊本製作所の健保体育館で開催されました。これは、自転車競技を通じ、自転車の安全走行に関する知識と技能を身に付け、交通安全についての興味と関心を高めさせ、子どもの交通事故を防止することを目的にしたものです。小学生を対象として、毎年開催されており、近隣市町村5校8チームが参加し、日ごろの練習の成果を発揮していました。



1鮮やかに自転車を乗りこなします 2美咲野小学校の皆さん 3大津小学校の皆さん

高校生同士で異文化交流

5月19日から28日までの10日間、姉妹都市アメリカ合衆国ヘイスティングズ市の訪問団11人(高校生10人、引率者1人)が来町しました。滞在中は町内にホームステイし、住民との交流を通じて日本文化を学びました。姉妹都市締結23年間で初めてとなる高校生訪問団は、町内の高校を訪問し、高校生同士での交流も深めました。翔陽高校では、着物の着付け、木工ペンダント作り、箱庭作りを体験。部活動では書道や茶道にも挑戦し、学生同士さまざまな体験を通して打ち解け合いました。大津高校では、柔道・剣道、英語、家庭科の授業に参加。英語の授業では、身振り手振りを交えながら英語で積極的に質問し、お互いの文化への理解を深めました。



姉妹都市ヘイスティングズ市民訪問団来町

ヘイスティングズ市からの参加者は、「歴史も環境も違うけれど、日本とアメリカには多くの共通点があることを学んだ」、「帰ったら、日本で学んだ自然環境を大切にすることを友だちに教えてあげたい」と話していました。

大津高校では、柔道・剣道、英語、家庭科の授業に参加。英語の授業では、身振り手振りを交えながら英語で積極的に質問し、お互いの文化への理解を深めました。



1初めての筆に戸惑いながら、書道に挑戦 2町産のからいもを使ったいきなり団子作りや剣道の「面打ち」に挑戦 3町での滞在最終日、お世話になったホストファミリーと笑顔で記念撮影

大津町の米が地下水を育む

くまもと地下水財団水田オーナー制度

平成30年度水田オーナー制度の田植えが6月9日、10日の2日間、真木地区で開催されました。これは、(一財)くまもと地下水財団が主催し、真木地区の農家と熊本市内の企業、団体が協定を結んで地下水保全と食育を目的に毎年行っています。

梅雨入りあとの曇り空の下、2日間で380人が参加し、地区の農家の皆さんからの指導を受けながら参加者たちは笑顔で田植えを楽しんでいました。



丁寧に苗の手植えをする参加者の皆さん 町の水田は豊かな地下水環境の保全に大きく貢献しています

「父(乳)の日」に牛乳を

父の日に町長へ牛乳を進呈

6月17日の「父(乳)の日」にちなんで、JA菊池大津酪農女性部から6月14日、「わが町のお父さん(町長)」に牛乳が贈呈されました。現在、父の日に牛乳を飲む取り組みが全国的に広がっています。菊池地域は全国有数の酪農地帯。大津町酪農女性部の皆さんは、安心・安全な牛乳を提供するため、毎日頑張っています。

贈呈を受けた家入町長は、「おいしい。父の日だけではなく毎日飲みたい」と牛乳を飲み干していました。



JA菊池大津酪農女性部の皆さん 今年もおいしい牛乳をありがとうございました

災害時の住民の心の支えに

災害発生時の県立校避難所利用に関する調印式

「災害発生時における学校施設の避難所等利用に関する基本協定書」の調印式が5月28日に大津高校で行われました。これは、県教育委員会の「防災型コミュニティスクール」の一環で、災害時に学校施設を一時避難所として利用できるものです。一時避難所として大津高等学校、翔陽高等学校、福祉避難所として大津支援学校がそれぞれ町と協定を結びました。県立学校が地元市町村と協定を結んだのは県内初のことです。



左から大津高校校長の赤星隆弘さん、家入町長、翔陽高校校長の菅田雅之さん、大津支援学校校長の牛野忠男さん

子どもたちの笑顔溢れる

大津幼稚園 からいもの苗の植え付け体験

からいもの苗の植え付け体験が5月30日に大津幼稚園で行われました。これは、園児たちが自ら植えて、育て、収穫し、食べることで喜びを感じ、心の成長につなげたいと毎年行っているものです。

園児たちは、「美味しく育ちますように」と願いを込めながら畑のしるしのついた場所に芋の苗つるを丁寧に植えていました。秋には大きなからいもが収穫されると聞き、目を輝かせていました。



1植え終わったあと笑みを浮かべて「はい、ポーズ」 2苗を植えたあとは優しく上から押さえます